

こぶし

■発行／沼津市子ども会
育成連絡協議会
■編集／沼子連だより
編集委員会
■事務所／沼津市教育委員会
事務局生涯学習課
☎055-934-4871
■印刷／株式会社黎明社

スローガン

1. 私たち世話人は、より高く、より広く、次の世代を担う子どもたちの育成に努めます。
2. 私たち世話人は、子ども会指導者の確保と組織の強化に努力します。
3. 私たち世話人は、子ども会活動をより活発にするためボランティア精神に徹します。



子どもの遊び王国



砂の造形大会



球技大会



「携^{たず}わる事から未来へ」

沼子連会長

山田 知弘



沼子連も今年の二月で結成五十八年目を迎えます。結成された目的は、児童の健全育成のため、家族ぐるみ、町ぐるみとなって子どもを見守る大人達が、世話人としての指導技術のあり方を検討し、研鑽^{けんさん}し、それを得ることや各子ども会世話人相互の横の連携を共通の理念に立って密にする事でした。これは、現在でも「地域の子どもは地域で育てる」に通じ、子どもの健やかなる成長は、今も昔も変わらず、社会全体の使命でありのぞまれるものでもあります。しかし、現実はどうでしょう。

この世代・地域からも『役員の負担が大きく担い手が居ない。』という事を耳にします。未婚率の上昇に視られるように「義親や親戚づきあい」が面倒「自由が利かなくなる」といった『利己主義』『人間関係の希薄』が進む社会環境でもあります。

ですが、大道芸ワールドカップ in 静岡や復興支援などには、

※研鑽（磨き上げる事）



多くのボランティアが集まります。きっと、「何か人の為になりたい!」という気持ちが人の中にあるからだと感じています。子どもの遊び王国 in 沼津にボランティアとして参加した中学生の作文に、楽しく遊ぶ子ども達から素直に感謝される事によって「面倒くさい」という気持ちは無くなって、楽しいという気持ち次々と込み上げてきました。「中学生の僕たちが、子ども達に教えられた一日になりました。」という言葉がありました。

このように、始めは人の為に活動している事でも、自分の為になる事も多々あります。

時には口論となり嫌な思いをする事もあるでしょう。しかし本気で携われば得る事も多いのです。「子どもは社会を映す鏡」と言います。子どもの健全育成の為、そして、大人自身の為、地域社会の為。連携し刺激し合い、より良い活動を皆で進めていきましょう。未来のために!



いあいさつ

沼津市市長

栗原裕康

沼津市子ども会育成連絡協議会におかれましては、日頃より様々な事業を通じて、本市における子ども会活動を支えていただくとともに、子ども会活動の必要性を広く周知するなど、本市の青少年健全育成活動に大きく貢献いただいておりますことに、心から敬意を表するとともに、厚く御礼申し上げます。

本市では昭和55年に青少年健全育成都市宣言を行い、地域や市民の皆様とともに、それぞれの時代の課題に向き合いながら、青少年の健全育成に取り組んでまいりました。

社会環境や生活環境はめまぐるしく変化し、便利に、そして豊かになりました。しかし、一方で、進行する少子化のもと、子どもの遊ぶ場所が屋外から屋内に変わり、テレビゲームやスマートフォンなどが子どものコミュニケーションの主たるツールとなる中、友だちとのつながりは希薄化し、他人や社会とう

まく関わりを持っていない子どもが増えるなど、暮らしの変化がもたらした影響は、良しにつけ悪しきにつけ徐々に大きくなっているように思います。

以前は、子ども同士で知恵を出し合い、遊びのルールを自ら考える中で、自然と協調性や自立心が身につけていきましたが、そのような我々の日常にありふれた体験は今では貴重な体験といわれるようになってしまいました。これには一抹の寂しさともあわせて大きな不安を感じるとともに、他者とのかわりが希薄化する中、相手を認め、思いやる健やかな心を持った子どもを育てていくことがきわめて重要な課題と感じております。貴会が担われる、学校教育の枠を越え、異なる年齢の集団の中で人と関わり、さまざまな体験をすることができると子ども会活動というものが、これまで以上に大切になってくるものと思われ

ます。今後子どもたちが、いきいきと成長し、人との関わり方を学ぶ機会を創出していただきますよう、引き続き青少年健全育成活動へのご協力をお願いするとともに、沼津市子ども会育成連絡協議会の更なるご発展をお祈りいたします。



沼子連の活動に感謝

沼津市教育長

工藤達朗

六十数年前の子どもの頃を思い出すと、今日の自分の人間性や創造力、人との接し方等の人格形成上、極めて大切な時期であったと思っています。

当時は、異年齢の多くの仲間

間との遊びによる切磋琢磨により、人間関係づくりや豊かな心と創造性が育まれたに違いありません。

その様なことを考えますと、沼子連の活動による砂の造形大会、子どもの遊び王国、球技大会などは、多くの人と関わり合いを持ちながら、様々な体験の中で知識・知恵を学ぶことができ、子どもにとってかけがえのない貴重な時間であります。

沼子連の皆様始め周囲の大人から、子ども達に自然の楽しさや豊かな遊びを伝授していただき、それが、少しずつ子ども達の中に広がっていくことを願ってやみません。

一昔前にはよく見られた木登りや泥んこ遊びをしている姿もあまり見かけません。私達の時代は、ススキの葉を二つに裂いて芯の部分を飛ばしたり、木に登ってシイの実や木イチゴを貪り食べたりしました。どの木の实が美味しいか熟知しており、おやつ代わりにしたり、垣根の若葉を丸めて作った草笛は、細く丸めれば高い音色が、太く丸めれば低い音色が出ることを体験しました。

今後とも、教育委員会と致しましては、沼子連の活動に対しまして、全面的に支援させていただきます。

これらの遊びは、誰から教えてもらったのか全く記憶にありませんが、群れて遊んだ仲間や先輩からの遊び文化の伝承であったに違いありません。

最後にになりましたが、お忙しい中での、青少年の健全育成に関わってくださる沼子連の皆様方のご努力に対しまして、心より感謝申し上げます。



☆クラブキッズとは？☆

- ・子ども会活動における小学生リーダーの育成を図る事を目的として年間6回（予定）の研修を行います。
- ・クラブキッズでは「あそぶ」「楽しむ」をテーマに研修を行っています。この研修を通して「自分たちでもやってみよう！」という気持ちが芽生え、地域やそれぞれの子ども会でリーダーとして活躍してくれる事を願っています。

楽しいクラブキッズ

第五小学校 6年

小山 朔夜さくや

ぼくはこのクラブキッズにきてよかったことは2つあります。1つは、またいろいろな友達ができたことです。2つめは、学校ではできないことができることです。野外活動では、グループでご飯を作るけど学校では、それがないのでいい経験になりました。



第20回 CLUB KID'S



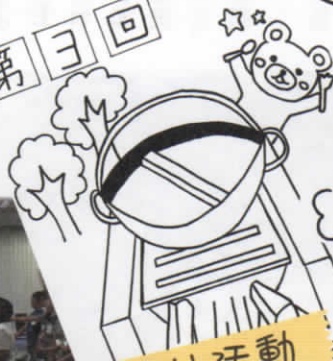
ゲーム

平成27年度

CLUB KID'S

夏祭り

第3回



第1回

フレンドシップ
友達ができたこと。

野外活動

CLUB KID'S

クリスマス会



クラブキッズで。

香貫小学校 5年

原 桃香

私は、クラブキッズに入ってから良かったことがたくさんあります。一つ目は、学校とはちがいで、自分たちで全部やるということです。

二つ目は、いろいろなゲームを覚えられて、とても楽しいということです。

三つ目は、自分たちで考えて、料理のやり方も分かるようになりました。なので、来年も参加したいと思いました。



～今年度の活動～

第1回 6月28日	フレンドシップの時間
第2回 7月19日	夏の遊びの時間
第3回 9月13日	野外活動の時間
第4回 11月29日	クリスマス会の時間
第5回 1月24日	まじめようの時間

君もクラブキッズへ参加しよう！

参加方法

沼津市在住の5・6年生が対象です。
4月に案内を配布します。子ども会を通じて申し込むか、生涯学習課に直接お申込み下さい。また、見学もできます。場所は青少年教育センターで、時間は9:00～11:30です。
見学ご希望の方は生涯学習課にお尋ね下さい。
生涯学習課：055-934-4871

第39回

砂の造形大会

平成27年 6月7日 沼津市 志下海岸

富士山を望む志下海岸で、市内の子ども会から十九チームが集まり、砂のキャンパスに思いの作品を作り上げました。

楽しかった砂の造形大会

沼田校区

佐野 悠生

待ちに待った砂の造形大会、ぼくたち沼田小は、初めて参加しました。みんなで集まって決めた形は、シャチになりました。そして、ぼくはキャプテンに選ばれました。

当日、貝や石を拾って材料集めをしました。生きているアサリを見つけてびびくりしました。

そして、ぼくは平らな砂からシャベルで形を描きました。みんなで協力してシャチを立体に作って手作りのへらで形を整えました。一番難しかったところはしっぽをなめらかにする部分です。目と口はインパクトがあるように貝がらにしたら大成功でした。他の人のチームの作品を見てみんなうまいなと思います。発表の時、ぼくのチームが子ども大賞金賞に選ばれてやったーと思いました。あんな大きな作品は一人では作れないし、声をかけて協力しあって出た作品だと思えます。

六年生のいい思い出が作れてよかったです。とても楽しかったです。



砂の造形大会

香貫校区 世話人

白岩 由美子

「100年に1びきのとかげ！」司会の方の声が聞こえた瞬間、思わず両手を上げて拍手です。

手探りで始まった砂の造形大会準備。合同チームでの参加になり、チームワークはどうかな？道具は足りているかな？いろんな心配は一度だけ出来た練習ですっかりなくなりました。子どもたちはやる気充分。砂浜での作業も楽しんでいました。

大会当日は天気にも恵まれ、一人一人がてきぱきと作業をし

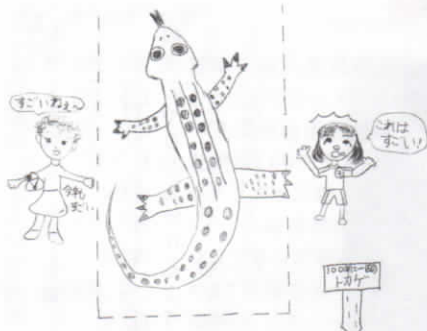
ていて、一生懸命水を運ぶ子、スコップで砂を盛る子、細かい所を丁寧に仕上げる子、皆が頼もしく見えました。トカゲは今にも動きだしそうな迫力です。結果は、市長賞・子ども大賞銀賞受賞。

子どもたちは勿論、応援の皆さんの笑顔も見ることが出来てとても良い体験でした。

来年度以降も「楽しかった！」の声が聞ける事を願っています。最後に、協力して下さった皆様、大会関係者の皆様、ありがとうございました。



100年に1びきのトカゲ



（右側）校区（指湯）子ども会 名前 佐藤美翔

最後の砂の造形大会

大岡校区

神部 優希

ぼくは、今回の砂の造形大会でキャプテンをやりました。絵がうまいと言われてやることになりましたが、キャプテンはみんなに指示をだしたり、途中で全体を見たりなど、いろいろやる事があって大変そうだし、自信もなかったのですが、はじめはキャプテンをやるのがいやでした。当日は、練習の時には使えなかったもぐりやガラスのとけた物、貝が使えたので、砂に色どりが増えました。色どりがあつたから、アイデア賞がもらえたのかもしれない。

指示は、一人では心細かったので友達といっしょにやりました。

閉会式で駅前町がよばれた時はおどろきました。金賞はとれなかったけど、アイデア賞がもらえたので、とてもうれしかったです。はじめはいやだったキャプテンもやりとげることができましたし、小学校最後の砂の造形大会で賞をとることができたので、とても良い思い出になりました。



力を合わせた砂の造形大会

千本校区世話人

川口 朋美

今年の題名が『かえるの家族』に決まった時、どんな風にするんだらうと全く想像が付きませんでした。

しかし、図案が出来上がり、練習を重ねるうちに、段々と形になってきました。

それでも、毎回反省点が見つかり、不安が残ったまま本番を迎えました。

ここまで来たら、安全に気を付けて、皆で協力し合い、思いきり楽しんで参加出来ればいいとの気持ちで見守っていました。作り始めると、キャプテンを中心にコツコツと自分の担当の仕事をこなし、順調に進んでいきました。大きく盛り上げてくると崩れてしまい、何度も手直しをしたり苦戦していました。最後はとてつもなく綺麗に仕上がりました。皆が力を合わせた結果が形になりました。

『沼子連会長賞』までいただき、子ども達の大きな誇りとなりました。

これも主催して下さった沼子連本部、各校区役員、見守って下さった保護者の方々、応援に来て下さった先生方のお陰と大変感謝しております。

楽しかった子ども時代の思い出の一ページに残る日になったと思います。



みんなで作ったジンベエザメ

門池校区

山本 陸央

ぼくたちのチームはジンベエザメを作りました。

ぼくは、去年から砂の造形大会に出場しています。去年は入賞できなくてくやしかったので、一年間今年の砂の造形大会に向けて作戦を考えて、二回目の出場をしました。ぼくはキャプテンなので、指示をしたりしていたけど、一年生や二年生がなかなか言う事をきいてくれなくてこまったりすることがあったり、水で遊んでいる子もいて大変だったけれど、ジンベエザメを時間ぎりぎりまで完成できました。去年からがんばっていたおかげで、プロジェクト賞という賞に入賞することができました。計画を立てて行動することは、大切な砂の造形大会が終わってから思えるようになりました。



協力する姿は素晴らしい

第四校区世話人

西野 利恵子

帰ってきた第四工務店は、一年生から六年生までの二十三名構成で、六年男子が中心のチームでした。

低学年の面倒もみながら黙々と作業する姿に感動！その傍らで一年男子は、海辺で貝殻を見つけて喜んでいました。

自然の中で遊びや楽しみを見つめる、今も昔も変わらない子どもの姿なのだと思います。

壊すときは全員集合！創作活動中は、なかなかお手伝いできなかった子どもたちまで、カウントダウンはみんなニコニコ。

「5・4・3・2・1それー」
一斉に破壊活動をしていました。どんな場面でも協力する姿は素晴らしいですし、何と云ってもとびきりの笑顔に、近くで見ている大人まで楽しい気分になりました。

あの笑顔が見たいから、来年も同行している自分の姿が想像できます。



☆☆☆ 第39回(平成27年度)沼津市子ども会「砂の造形大会」入賞作品 ☆☆☆

表彰	校区名	子ども会チーム名	作品名
沼津市長賞	香貫	Let's 塩満連合	"100年に1びきのとかげ"
沼子連会長賞	千本	千本ファイティングチーム	かえるの家族
チームワーク賞	今沢	シャイニングSun本松	海の帝王シャチ
アイデア賞	大岡	ミラクルグッチ	カジキとゆかいな仲間たち
プロジェクト賞	門池	門池ファイターズ	ジンベエザメのお食事
デザイン賞	第四	帰ってきた第四工務店	クロコダイヨーン
子ども大賞(金賞)	沢田	沢っ子グリーンファイターズ	海の王者「シャチ」
子ども大賞(銀賞)	香貫	Let's 塩満連合	"100年に1びきのとかげ"
子ども大賞(銅賞)	香貫	オーシャンズ大久保	海のキング～ねらわれし者～



第54回 子ども会球技大会

開催日：平成27年度11月21日

場所：今沢中学校

念願の優勝!!

香貫校区 石原子ども会

高梨 未幸

「優勝は石原です。」その声を聞いて、みんなで大声で喜びました。決勝戦の相手は、練習試合で勝てなかった静浦でした。試合が始まって、前半は同点。後半戦では絶対に勝てるように頑張りました。「石原の勝利。」と言われた時は、本当にうれしかったです。

六年生男子が私たちにボールがあたらない様にかべになって守ってくれたから、自分たちより身長の高い人がいるチームとの試合も、こわくならず頑張れました。

そして、沼子連の大会まで私達にドッジボールを指どうしてくれた佐竹さん、応援に来てくれたお父さんお母さん、学校の先生方や友達、決勝戦で応援してくれたたちがう学校の人達。

みんなのおかげで勝ち取った優勝！本当にうれしくて、頑張ったドッジボール大会です。

ありがとうございました。

ドッジボールから学んだ事

原東小学校 東沖子ども会

望月 一秀

ぼくは、ドッジボールは得意ではありません。でもこの球技大会に参加してドッジボールが



好きになりました。なぜかというところ、チームのみんなで協力して勝つという喜びを知ったからです。チーム全員が全力を出してとった一勝は何よりうれしかったものです。「やっぱり勝たいたい」この思いはみんな同じです。そして勝ったチームや負けたチームとも試合が終わるとみんな友達になっていました。

最初は、勝つ事だけが目的と想っていたけれどドッジボールを通して、友達とのつながりを感じることができたり、失敗をこわがらず経験する事ができました。

これから、たくさんの方に挑戦し夢や希望を持って生活していく自信を持てるようになりまし。六年生最後の行事として思い出たのでぼくたちがやった事を低学年にかたり続けられるようにボールをパスしていきなさいです。

集った有志十四名

千本校区 松下町子ども会

澤井 美咲

「絶対に勝つぞー」
「オー」

ついにこの日がやってきました。千本校区は、毎年四、六年生に球技大会参加の募集をします。今年は、十四人の有志が集まりました。二カ月間、放課後の自主練習、土日の練習、二小と開北小との練習試合などたくさん練習してきました。今日はその成果を見せる時です。

私たちは、予選の二試合目か

らだったの対戦するチームをボール拾いをしながら見ていました。いよいよ私たちの番です。

「絶対に勝つぞー」
「がんばろう」

とみんなで声をかけあいました。始めは、きん張していつも通りにできなかったけれど、少しずつ調子を取りもどしていき、決勝リーグに進むことができました。決勝リーグでは、おしくも一点差で負けてしまいました。でも、十四人で気持ちを一つにし、がんばってきたので思い出に残る球技大会になりました。



Q. どうして敢闘賞を設けたの？

A. 以前からチームワークが優れ、子ども中心で試合に臨み挨拶がしっかりできる等のチームに「何か賞をあげたい」と言う声がありました。そこで球技大会の主旨に沿った賞と言う事で「敢闘賞」を設けました。最も身近で試合を視る事のできる、各コート責任者に「チームワーク」「子ども達の主体性」「試合態度」の観点から、該当チームを選んでもらいました。

僕達を成長させてくれた球技大会

愛鷹校区 青野子ども会

庄司 匡 希

「周りを見る！」

と僕の声がひびきだしたのは、六月からだった。キャプテンという意識を持ちグラウンドで球技大会の練習を始めた。僕は一番にげること・相手を当てることが大切だと思っていたので、パスの練習や一人一回ボールをさわれるように全めつドッジボールをするなど勝つために週三回がんばってきました。

地区予選では、みんな声をかけ合い、一人一人ががんばり、優勝できました。地区予選が終わっても気を抜かず練習を再開しました。沼津市球技大会では、



始まる前に円陣を組み、みんなが、がんばろうという気持ちでコートに立ちました。結果は、一勝一敗でした。この試合があつたから学べる事がありません。それは、僕達の練習に毎週お母さんの存在があつたからこの成長だということ。そのお父さん、お母さんに感謝しています。僕たちを見守ってくれて、ありがとうございます。

「おねがいます。」
そうやって始まった試合。私は、きんちようしていました。門池小学校の代表として出場したので、あいつ、態度をしつかりやると決めました。試合は、負けてしまった悔しかったです。しかし、学んだ事がありました。それは、勝つても負けても団結、協力すれば思い出になるんだなと思いました。また、他の地区の所は、もつと声が出ていて、びつくりしました。試合中は、相手がどつちに動くとか考えてやりました。外野とパスをやりながら、ゆだんしている人を当てる事ができました。仲間があつたら、

門池校区 上石田子ども会
小林 七 菜



(愛鷹) 校区 (青野) 子ども会 名前 伊東 古月 桃

「ドンマイ」
など声かけができたのは良かったです。沼津連は、すごくいい経験になりました。仲間と団結、協力しながら、ルールを守り楽しくプレーすることができ、いい思い出になりました。

「みんなで手にした宝物」

静浦校区 静西子ども会

世話人 伊藤 望

友達と遊ぶのもゲーム・ゲーム・ゲームの現代の子ども達でも、本大会前の二ヶ月余りは違います。下校するや否や宿題を急いで済ませ、超特急で体育館へ練習に行きました。その間、監督をはじめ子ども会役員の皆

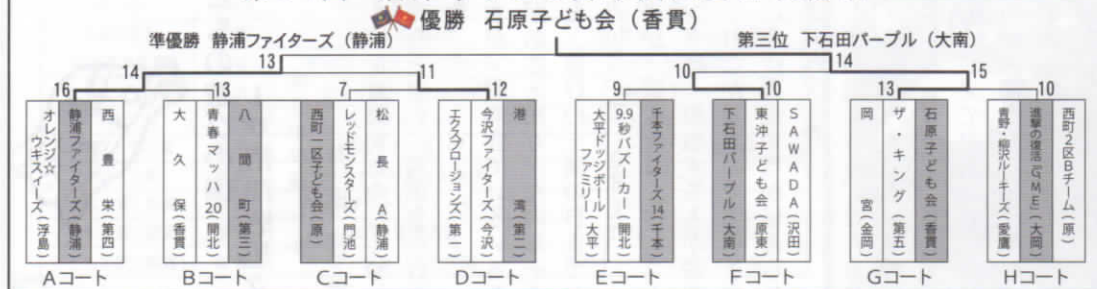
様には大変お世話になりました。準備等は勿論、自分の子の様に時に厳しく時に優しく指導してください。信頼関係と一体感が生まれたと思います。

本番では、試合前の「お願いします。」終了時の「ありがとうございます。」この言葉は、他のどのチームにも負けない程の大きな声が出ていました。惜しくも準優勝という結果に終わりましたが、この『礼に始まり礼に終わる』を評価されて手にした敢闘賞は、優勝にも勝るとも劣らない、すばらしい賞でした。この貴重な体験が、子ども達をひと回りもふた回りも大きくし、良い思い出となったことは、間違いありません。ありがとうございます。そして、お疲れ様でした！



第54回 沼津市子ども会球技大会対戦結果

決勝トーナメント出場チーム



☆☆敢闘賞☆☆

- Aコート 静浦ファイターズ
- Bコート 八間町
- Cコート 西町一区子ども会
- Dコート 今沢ファイターズ
- Eコート 大平トッジョボールファミリー
- Fコート SAWADA
- Gコート ザ・キング
- Hコート 進撃の復活「GME」

子どもの遊び王国

きみも遊び王になれる!! in 沼津 2015

みんなで創ろう遊びの世界 遊びは『心の宝物』



「ありがとう。」の一言で

第四中学校 三年

石原詩織

「子どもの遊び王国 in 沼津 2015」のボランティアに私は初めて参加しました。その中でも私は読み聞かせを担当しました。私は、子供達が本を一生懸命読んでいる姿が大好きです。

本は、大人から小さな子供まで物語の世界へつれていってくれます。そんな本を一生懸命読み、楽しんでくれる子供の姿を見てとてもうれしくなりました。私は、文章を読むのは得意ではなくて、何回もつかえてしまったのですが、そんな私の読み聞かせを最後まで耳を傾けて聞いてくれて、その子供達が最後には、「ありがとう。」と言ってくれたことが私にとっては何れしくてたまりませんでした。そして、読み聞かせを担当してくれた方々もやさしく接してくれたことに感謝の気持ちでいっぱい

です。
「子どもの遊び王国 in 沼津 2015」に参加してたくさんの方々と出会えたことに本当に良かったなと思いました。

小さな子との接し方

第二中学校 二年

海瀬穂のか

私は「子どもの遊び王国」のボランティアに参加したのは二回目です。小さな子が好きなので参加しました。私が担当した紙の創作のコーナーでは、新聞紙やおりがみで簡単にできるおもちゃを作りました。

参加して思ったのは、小さい子に楽しんでもらうことがとても大変だということです。小さい子には、あきないように説明を分かりやすく簡単にすることが重要です。とても難しく大変で、失敗もしましたが、このことを学校の授業で行うペア活動などに活かしていきたいです。これから、大きくなるにつれて人と接する機会が増えていくと思います。今回はその中でも小さな子との上手な接し方を学ぶことができました。とても良い経験となりました。また、来年も参加したいです。



楽しかったボランティア活動

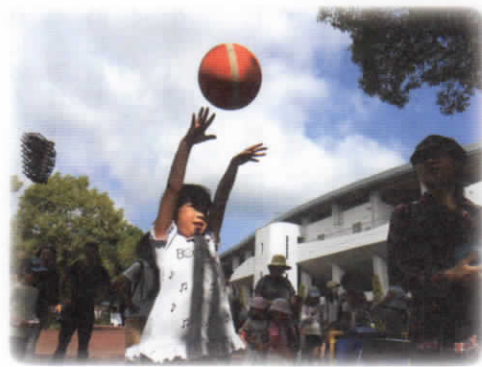
門池中学校 二年

渡邊 里緒菜

私が担当したのはペットボトルボウリングでした。

私は今年初めての参加でうまくできるか心配しながらも楽しんで本番になりました。

もしたら、始まってすぐに小さい子たちがたくさん来ました。だから、私が年齢を聞いてその年齢に合った所まで連れて行ってやり方などを分かりやすく教えたり受付でスタンプを押したり説明をしたりと一日人がいなくなることもなく一日が終わりまりました。なので、私は帰りのバスで疲れて寝てしまいました。けど、私はボランティア活動を楽しめたのでよかったです。なので来年も参加したいです。



子どもの遊びの国

in 沼津感想文

第三中学校 三年

井出佳甫

ぼくは正直最初たのしくやれるのかなと思いき、説明会へ行きました。

ですが、説明会でいろいろな種類があると知り、たのしそうだなと、遊びの王国の日までが楽しみになっていきました。

ですが、ぼくたちくつシューティングは、担当する人が説明会にこれなかったたので当日までどういう仕事をするか伝えられていませんでした。

そして当日になり、どんな仕事をやるんだろうと思いき球場に行きました。そして、球場に着き、担当の人が来て説明をしてくださいました。説明をした後、試しにくつシューティングをやらせてもらいました。すごくむずかしかったです。だけどすごく楽しかったです。そして、開会式が始まり遊びの王国が始まりました。

この経験を活かし、大人になっても任せられた仕事をやります。



遊びの王国に参加して

第三中学校 三年

秋山 萌

私は、遊びの王国に参加するのは初めてで、どんなことをするのか全然知りませんでした。

私の担当はわりばししてつぼうのコーナーでした。他にも同じ学校の人がいって安心しました。わりばししてつぼうの作り方はむずかしくて、事前にやった時も作業が全然進みませんでした。何回か作っているうちに作り方を覚ええました。

そして当日、たくさんの子どもが来ました。始まったばかりは説明がうまく伝わらず、大変でした。だんだん作業にも慣れていきました。最後のほうは楽しんで作業できました。

一日作業して、思っていたよりも楽しかったし、多くの人が来てくれました。また、終わった時に参加して良かったと思いました。



子どもの遊び王国

子どもとふれあってみて

第四中学校 一年

原田 知宜

大塚 友太郎

ぼくは、友達にさそわれてこのボランティアに参加しました。最初は、嫌だな、やりたくないと思っていました。けれど友達がいるからやってみようかなと思ったのです。

そして当日、そんな気持ちでいたところ、ぼくたち係のカラーリングにたくさんのお小さな子たちが、今か今かと行列で待っていて、終わった後には、「ありがとう。」

などと言ってくれて、中には二回もここに来てくれた子もいました。そんな様子を見てみると面倒くさいという気持ちは無くなって、逆に楽しいという気持ち

が次々と込み上げてきました。素直に感謝してくれる子たちを見て、逆に中学生のぼくたちが子どもたちに教えられた一日になりました。

次回もまたこのボランティアに参加して、子どもたちとふれ合ってみて、新しい発見をしてみたいと思いました。



子どもの遊び王国

第四中学校 一年

高田 大輝

ぼくがなぜ、このボランティアに参加したかというところ、小学4年生のときに遊んでとても楽しかったので、恩返しみたいな感じで来てみました。子どもとふれあって遊ぶのも好きなので、ボランティアに参加しました。

ぼくの係は、カラーリングでした。カラーリングを行う場所が坂だったので、どうやったら止まるのか、どれだけ段差をなくせるのか、それを調節していくのがむずかしかったです。途中で板の角度をかえたら、最高点の三点で止まることが多くなってしまったり、お客にしっかりとあいさつなどができなかったのが反省点です。でも、終わった後、子どもから『ありがとう』や『楽しかった』などの言葉をいつてもらえて、うれしかったです。

今度、この中学生ボランティアに参加するときは、この反省をいかし、活動したいです。



子どもたちの笑顔

大岡中学校 三年

望月 康平

小さい子ってすごいな！私達に元気を与えてくれる。

これが一番の心情です。私が担当したバスケットシュートのコーナーにはたくさんの子が遊びに来てくれました。バスケットシュートはボールを九つのゴールに向かって投げ入れるという私達からすれば簡単なことですが、小さい子には力がある子、ない子や投げるのが得意な子、苦手な子など色々な子がいます。上手にゴールを決める子がいる中ボールがゴールに届かない子やゴールに入らない子もいましたが、みんなに共通して言えることは真剣だったことです。また、頑張ってゴールを決めた子の笑顔は目が輝いていて、とても私は元気をもらいました。楽しかった時間はあつという間に過ぎ、「子どもの遊び王国in沼津」はとても良い思い出になりました。小さい子どもとの遊びは「心の宝物」に。



「子ども会活動」について

沼津市生涯学習課主事

岡部 翔太

今後の地域の姿がどのような形に変化していくのか、私はこの疑問について深く考えなければならぬと思っています。

少子高齢化が問題視されてから、国内における将来を支える力が減り続けているという現実を如実に感じます。支えを要する人が増え支える人が減っている、これはいずれ日本を支える人がいなくなることに繋がってしまわないでしょうか。

国内に多くの市区町村がある中で、それぞれがこの事実を受け止め策を講じなければなりません。人の数だけ方策が存在すると思いますが、私はその中に「子ども会活動」があると考えています。

「子ども会活動」と聞いて、一般的にどのような印象を受けるのでしょうか。私は幼い頃、「学校とは異なる特別な集まり」というような印象をもっていたことを覚えています。私の参加していた活動は、クリスマス会や歓迎会くらいのものでしたが、それでも近所に住んでいる子ども達と過ごした時間は楽しかったと記憶しています。学校の同じクラスの見知った友人ではな

い人と関わるのは初めてで、恥ずかしさや気まずさを感じましたが、小学生の私はそのようなことは一瞬で忘れ、役員の方々が用意した企画に魅了されていました。その時、他の子ども達の表情はやはり私と同じく楽しそうであったと同時に、役員の方々がとても素敵な笑顔であったことが強く印象に残っています。

時代とともに、地域を取り巻く環境が変わり、以前のように子ども会活動への積極的な参加をする家庭が減ってきていると感じます。子どもと共に家族だけの時間を大切に楽しみたい、その思いはとても大事なものです。また、子ども会活動に参加している上で、子どもの笑顔の為に親が動く、親は子どもの為に動くものである、これも必要なことであると思います。しかし、多様化する親の家族への思いの中、子どもが笑顔であると同時に、親も心から笑顔で取り組むことができている。このことが、何かを行う上でこの先もその何かが続いていく原動力になるのではないのでしょうか。

今後の「子ども会活動」が人と人が繋がる機会となり、親子が共につくりあげるものとして、地域を盛り上げ、人を呼

ぶきつかけになることを願っています。



安全共済会加入者人数

(11月15日現在)

- 加入単子数 227団体
- 幼児 267名
- 小学生 7752名
- 中学生 24名
- 高校生 16名
- 育成、指導者 3258名

合計 11317名

K Y T 活動

（児童 予知 トレーニング）

去年に続き、今年も怪我・事故防止の観点からK Y T活動に取り組みました。

※活動実績

- 4月19日 K Y T講習会
- (校区長推薦理事対象)
- 5月31日 砂の造形説明会
- 7月11日 第一回単子子ども会
- 8月2日 第二回単子子ども会
- 11月1日 球技大会抽選会
- 1月31日 合同K Y T講習会

(第一・第二・開北・千本校区)



沼子連からのお知らせ

平成二十八年年度

沼子連行事の日程（案）

- 一、砂の造形大会
 - 開催日 六月十二日(日)
 - 予備日 六月一八日(土)
 - 場 所 志下海岸
- 二、子どもの遊び王国in沼津
 - 開催日 十月 十六日(日)
 - 予備日 十月 二十三日(日)
 - 場 所 少年自然の家 自由広場 多目的競技場 スポーツ広場
- 三、球技大会(ドッジボール)
 - 開催日 十一月二十六日(土)
 - 予備日 十一月二十七日(日)
 - 場 所 今沢中学校グラウンド

ホットタイム

ドッジボールの思い出

沼津市立静浦小中一貫学校

副校長 玉井新一郎

沼子連では、ドッジボール大会を行っていますが、以前、勤務していた小学校でも子どもたちはドッジボールが大好きでした。休み時間になると、子どもたちにせがまれて、先生方はドッジボールと一緒にやっています。

そんなある日。突然、NHKの方から学校に電話がありました。内容は「先生のクラスの子から『学校の先生たちがドッジボールで強く、勝ち方があまりにも大人げない。先生たちに勝ちたいから応援してください。』と、番組に相談がありました。つきましては、子どもたちに練習をさせ、先生たちとドッジボールで対決するという番組を撮らせてほしい。」というものです。びっくりしたものの当時の校長先生に撮影を許可してもらいました。

しかし、さすがは天下のNHKです。ドッジボール日本一の小学生チームを連れてきて一緒に練習をさせたり、監督から作戦を教えてもらったりしました。タレントさんも来校して、子どもたちも大喜び。例年、学校で



行われる子ども会ドッジボール大会も、番組効果で大いに盛り上がり、楽しい一日になったのをよく覚えています。さて、先生たちとの対決の結果ですが・・・NHKと子どもたちの努力もむなしく、先生たちの圧勝。くやしい子どもたちは、その後も「先生、ドッジボールやろう！」としつこく職員室にやってきましたのは言うまでもありません。番組も大好評で、何度も再放送されました。

交通担当の皆さんのおかげです

沼子連交通部長 守屋史章

交通担当の皆さんは、会場から離れた場所で、裏方に徹して活躍いただいています。裏方とはいえ駐車場運営の成功、交通安全の確保はイベント成功の大前提ですから、非常に重要な役割です。あるときは蒸し暑い中、あるいは肌寒い中一日中頑張らないといけない。本当に大変な仕事です。皆、子どもたちの楽しんでそうな顔を思い浮かべながらがんばります。そしてイベントが成功に終わったことを会場の外で静かに喜びます。このような交通担当の皆さんのおかげで今年も各イベントは大成功。本当にありがとうございます。

ファミリーキャンプ

香貫校区 杉山岳晴

数年前からキャンプにはまっています。キャンプ中の子ども達は普段より楽しそうに見えます。自然を体感し後々の生活で役立つスキルを身につける良い機会となり、学校教育とは直接関係はありませんが問題解決能力が身につく効果があればと願っています。今後、沼子連・各校区・単一子ども会における活動としてアウトドア行事の更なる開催をし、子ども達の自立性・協調性が向上する事を期待します。

沼子連活動を体験して

開北校区 近藤育実

私は、小学5年生の子をもつ母です。これまで市のイベントにかかわる事はまったくなく、どんな事をしているのかも知りませんでした。

そんな私が、初めて沼子連の活動に参加させてもらい、イベントを行うたびに多勢の大人が子ども達の為に安全を考え、当日までの準備を行ったりと動いている事を知りました。イベントを楽しむ子ども達の裏で多くの大人が活動し、自分もそこに参加できた事はとても良い経験です。

沼子連の推薦理事として

静浦校区 小野正貴

一年間、沼子連の推薦理事として、さまざまな活動、行事に参加しました。

私は、交通部長として、各行事での交通整理や駐車場案内等に従事しました。決して華やかな仕事ではありませんが、絶対に必要な役割であったと痛感しております。

本年度に経験した内容を糧に来年度の子ども会活動、沼子連活動に活かしていければと思っております。宜しく願います。

編集後記

数十年前、子どもだった、大人と呼ばれる私達保護者は、子ども「人権」を忘れてはいないだろうか。子ども達の目を無視してはならない。それが大人としての大人たる本質であると思います。

私達が歩んで来た道を今一度振り返ってみましょう。そうすれば、今の子ども達に何をすべきか、見えて来るはずですよ。

今年も一年皆様の御協力に感謝申し上げます。(東)

編集委員

山田知弘 里村良太
小林規矩夫 荒木和美
堰沢みどり 工藤晃広
市川十三子 齊藤千尋
中藤 清 川口夕子
廣瀬久美子 勝又英俊
増田好信 廣川里味
小池奈美 日吉里佳
木口治美 石塚敏彦
長澤雪正 石川淳一
岡村明信 鈴木孝之
守屋史章 佐藤智恵子
伊藤 勝 近藤育実
東 隆子 原田敬一
川口裕子 萩原 平
村 木 豊 橋本千恵
佐藤公彦 渡邊大蔵
岡本富士夫 杉山岳晴
野田絵理 大垣一也
宮崎美記子 小野正貴

題字 「こぶし」は
書家 井口八千喜女史筆